

ASI情報開示

株式会社大紀アルミニウム工業所

2024年7月19日

株式会社大紀アルミニウム工業所 滋賀工場は
ASI (Aluminium Stewardship Initiative) のメンバーとして
ASIが目指す将来像「アルミニウムの持続可能な社会への貢献」に賛同し
Performance Standard基準に従い
持続可能な社会に向けた活動を続けています

本資料は、Performance Standard基準が要求する
環境活動、社会貢献、ガバナンス体制に関する当社の情報のうち
その他の資料等にて未だ開示されていない内容を記載しております

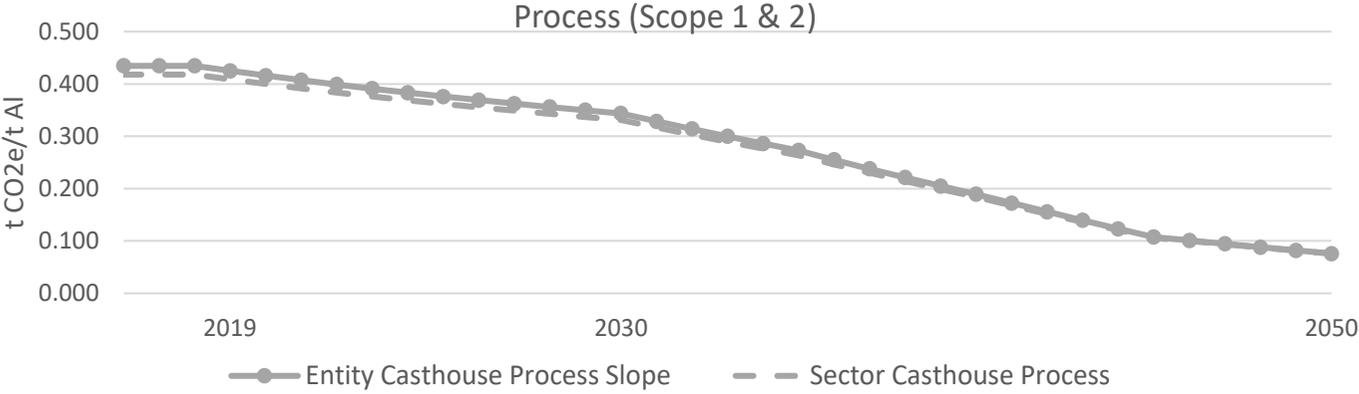
要件／主管部門	内容
2. 方針およびマネジメント	<p>2. 5 環境と社会への影響評価</p> <p>当社滋賀工場において、新たなプロジェクトまたは施設の重大な変更を計画した時は、次の手順で「環境と社会への影響評価」を行います。</p>
原則	<p>a. 「新たなプロジェクト」に対して、または既存「施設」での「重大な変更」に対して、環境および社会の「影響評価」を実施する。</p>
<p>事業体は、環境、社会、およびガバナンスのプロセスの健全なマネジメントに尽力しなければならない。</p>	<p>b. 「影響評価」では、「過去のアルミニウム事業」によって「ベースライン状態」がどのような影響を受けたかを確実に検討する。</p> <p>c. 特定された何らかの重大な影響を防止し、軽減し、必要があれば修復するための環境および社会の影響マネジメント計画を施行する。</p> <p>d. 少なくとも5年ごとに、環境および社会の影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>e. 「重大な」環境、社会、ガバナンスのリスクが変わるような変化が「事業」に発生したとき、環境および社会の影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>f. 管理のギャップについて何らかの兆候があるとき、環境および社会の影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>g. 環境および社会の「影響評価」および最新版の環境および社会の影響マネジメント計画を公開する。</p> <p>2. 6 人権への影響評価</p> <p>当社滋賀工場において、新たなプロジェクトまたは施設の重大な変更を計画した時は次の手順で「人権への影響評価」を行います。</p> <p>a. 「新たなプロジェクト」に対して、または既存「施設」での「重大な変更」に対して、「人権」「影響評価」（ジェンダー分析を含む）を実施する。</p> <p>b. 「人権」「影響評価」では、「過去のアルミニウム事業」によって「ベースライン状態」がどのような影響を受けたかを確実に検討する。</p> <p>c. 「人権」「影響評価」には、「先住民」の権利の評価を必ず含めるようにする。</p> <p>d. 特定された何らかの「重大な」影響を防止し、軽減し、必要があれば修復するための、ジェンダーに配慮した「人権」影響マネジメント計画を施行する。</p> <p>e. 少なくとも5年ごとに、「人権」影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>f. 「重大な」「人権」のリスクが変わるような変化が「事業」に発生したとき、「人権」影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>g. 管理のギャップについて何らかの兆候があるとき、「人権」影響マネジメント計画をレビューする。</p> <p>h. 「人権」「影響評価」および最新版の「人権」影響マネジメント計画を公開する。この際、「影響を受ける人や組織」に対して、または営業上の守秘義務に関する法的要求事項に対してリスクが発生しないように十分考慮する。</p>

要件／主管部門	内容
2. 方針およびマネジメント	<p>2. 7 緊急事態対応計画</p> <p>当社滋賀工場では、安全や環境に重大な影響を及ぼす可能性のある事故および緊急事態を事前に予防し、対応および予防する手続きを確立、維持することにより、事故発生時の人的・物的被害や環境影響を最小化すると共に、外部機関との緊密な協力体制を構築することで、被害拡散を最小限に抑えるために努力しています。</p>
原則	
<p>事業体は、環境、社会、およびガバナンスのプロセスの健全なマネジメントに尽力しなければならない。</p>	<p>緊急事態対応訓練</p> <p>環境影響評価で規定以上の評価となった設備を対象に整備。年1回訓練を行うと共にレビュー。</p> <p>緊急連絡対応フロー</p> <pre> graph LR A[環境・安全 事故発生] --> B[管理職 (組長・課長)] B --> C[部門長 (工場長)] C --> D[管理部長] C --> E[生産部門担当役員] C -- "外報告の 必要性指示" --> B B -- "重大災害発生時" --> F[消防署、病院、警察署、労働基準監督署、近隣組織、自治体(市、県)等] B -- "労働災害発生時" --> F </pre> <p>2. 8 業務の中断</p> <p>当社滋賀工場において、管理不能な要因により、運用を中断したり大きく変更したりする可能性がある状況を解決するための事業回復計画を策定しております。</p> <p>a. 事業復旧計画策定の際、社会、環境、およびガバナンスの「重大な」悪影響を考慮します。</p> <p>b. 少なくとも5年ごとに「事業」復旧計画をレビューします。</p> <p>c. 環境、社会、ガバナンスのリスクの性質や規模が変わるような変化が発生したとき、事業復旧計画の見直しを検討します。</p> <p>d. 事業復旧計画の管理においてギャップの兆候があるとき、事業復旧計画の見直しを検討します。</p> <p>2. 9 合併および買収</p> <p>当社滋賀工場において、合併または買収がある場合は、次の手順で「過去のアルミニウム事業」による重大な環境、社会、ガバナンスの影響に関する情報共有や計画施行を行います。</p> <p>a. 合併および買収に対する「デューディリジェンス」のプロセスにおいては、「過去のアルミニウム事業」に関連するものを含めて、この「基準」に関する環境、社会、ガバナンスの慣行をレビューします。</p> <p>b. 合併または買収後：</p> <p>i. 「過去のアルミニウム事業」による重大な環境、社会、ガバナンスの影響に関する情報を「影響を受ける人や組織」と共有する。</p> <p>ii. 「影響を受ける人や組織」と協議して、可能であれば彼らの参加を得て、「過去のアルミニウム事業」による「重大な」環境、社会、ガバナンスの影響を軽減するための計画を施行する。</p> <p>iii. 1年に1回、「影響を受ける人や組織」と、影響を軽減する計画の進捗状況を共有する。</p>

要件／主管部門	内容
2. 方針およびマネジメント	2. 10 閉鎖、廃止措置、および売却 当社滋賀工場を閉鎖、廃止、および売却する場合は、次の手順で閉鎖、廃止、売却による環境、社会、ガバナンスへの取り組みのレビューを行うと共に、重大な影響の計画を策定して監視を行います。
原則	
事業体は、環境、社会、およびガバナンスのプロセスの健全なマネジメントに尽力しなければならない。	a. 閉鎖、廃止措置、売却のための計画プロセスにおいて、ASI パフォーマンス基準に関連する環境、社会、ガバナンスの取り組みをレビューする。 b. 「影響を受ける人や組織」と協議して、可能であれば彼らの参加を得て、閉鎖、廃止措置、売却に関連する「過去からの影響」を含む、「重大な」環境、社会、ガバナンスの影響を監視する計画を施行する。

要件／主管部門	内容												
3. 透明性	3. 2 違反および法的責任 当社滋賀工場の2023年度における法令違反による罰金、判決、および非金銭的制裁はありません。												
原則													
事業体は、国際的に認められた報告基準に従って透明性を確保しなければならない。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象機関</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滋賀工場 (2023年度)</td> <td>-</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		対象機関	件数	備考	滋賀工場 (2023年度)	-	0件					
	対象機関	件数	備考										
滋賀工場 (2023年度)	-	0件											
	3. 3 政府への支払い および 寄付の状況 納税履歴の透明性のある開示として、毎年金融庁に有価証券報告書を提出しております。有価証券報告書は金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）に掲載されております。 有価証券報告書は金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ウェブサイト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滋賀工場 (2023年度)</td> <td>https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/WZEK0040.aspx?S100TP31..</td> </tr> </tbody> </table>		ウェブサイト	滋賀工場 (2023年度)	https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/WZEK0040.aspx?S100TP31..								
	ウェブサイト												
滋賀工場 (2023年度)	https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/WZEK0040.aspx?S100TP31..												
	寄付の状況												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>地域振興</th> <th>文化支援</th> <th>森林整備</th> <th>災害支援</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滋賀工場 (2023年度)</td> <td>400 千円</td> <td>30 千円</td> <td>10 千円</td> <td>10 千円</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		地域振興	文化支援	森林整備	災害支援	その他	滋賀工場 (2023年度)	400 千円	30 千円	10 千円	10 千円	-
	地域振興	文化支援	森林整備	災害支援	その他								
滋賀工場 (2023年度)	400 千円	30 千円	10 千円	10 千円	-								
	※直接か仲介者経由かを問わず、金銭および物品による政治献金は行っておりません。												
	3. 4 ステークホルダーの苦情、抗議、および情報請求 大紀アルミグループの内部外部を問わず影響を受ける人や組織が利用可能な事業に関する苦情や抗議、情報請求などは、当社ホームページ上の「その他お問い合わせ」にて受け付けています。社内にて対応を行い、発信者への回答を行います。												

要件／主管部門	内容
4. 素材管理	4. 1 環境ライフサイクルアセスメント 滋賀工場で生産する製品における原料入荷から製品出荷までの環境ライフサイクルアセスメントは本資料15～16ページに記載しています。
原則	a. 「アルミニウム」を考慮した、または使用した重要な「製品」ラインについて、ライフサイクルの影響を評価する。 b. 顧客の要求がある場合、「アルミニウム」（を含有する）製品に関する、適切なゆりかごからゲートまで（原料入荷から製品出荷まで）の「ライフサイクルアセスメント」（LCA）情報を提供する。 c. 「LCA」に関するあらゆる広報は、「LCA」情報に対する公開アクセス、およびその基礎となる前提条件、たとえばシステム境界などを確実に含むようにする。
事業体は、その事業の中で、さらにはバリューチェーンの中で、ライフサイクルの視点を持ち、資源の効率化、「アルミニウム」の収集およびリサイクルを推進することに尽力しなければならない。	

要件／主管部門	内容						
5. 温室効果ガス排出	5. 1 温室効果ガス排出量とエネルギー使用量 当社滋賀工場におけるGHG排出量は下記の通りです。						
原則	滋賀工場におけるGHG排出量（Scope 1 + Scope 2 + Scope 3カテゴリ 1 から 7 まで）						
気候変動に関する国際連合枠組条約の下で確立した最終的な目標を認識して、「事業体」は、地球全体の気候に対する影響を緩和するために、ライフサイクルの観点から「温室効果ガス（GHG）」排出を減少させることに尽力しなければならない。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GHG排出量[t-CO₂e]</td> <td>60,432</td> <td>  保証範囲：2023年年度の滋賀工場におけるScope 1,2排出量、Scope 3 (Cat 1～7) 保証水準：限定的保証 </td> </tr> </tbody> </table>		2023年度	備考	GHG排出量[t-CO ₂ e]	60,432	 保証範囲：2023年年度の滋賀工場におけるScope 1,2排出量、Scope 3 (Cat 1～7) 保証水準：限定的保証
	2023年度	備考					
GHG排出量[t-CO ₂ e]	60,432	 保証範囲：2023年年度の滋賀工場におけるScope 1,2排出量、Scope 3 (Cat 1～7) 保証水準：限定的保証					
	5. 3 温室効果ガス排出削減計画 当社滋賀工場ではASIで承認された方法論を用いてGHG排出削減戦略を策定しました。						
	 <p>Process (Scope 1 & 2)</p> <p>t CO₂e/t Al</p> <p>2019 2030 2050</p> <p>●— Entity Casthouse Process Slope - - Sector Casthouse Process</p>						

要件/主管部門	内容					
6. 排出、流出、廃棄	6. 1 大気への排出 当社滋賀工場では、環境マネジメントシステム（ISO14001:2015）の目標のひとつとして大気への環境負荷物質排出抑制を掲げております。公害防止設備の継続的な管理や、法令よりも厳しい自主基準値の設定などを通じて排出削減に取り組んでおります。					
原則						
「事業体」は、人間の健康および安全への悪影響の可能性または環境への悪影響の可能性のある排出および流出を最小化し、また、「廃棄物ミティゲーションヒエラルキー」に従って「廃棄物」を管理しなければならない。		単位	合否判定値	2022年度	2023年度	主な管理計画
	ばいじん濃度	g/m ³ N	0.1	0.01	0.01	・公害防止設備管理年間計画の策定と実施 ・大気への環境負荷物質排出抑制 ・大気測定の自主基準の設定と定期的なモニタリング
	窒素酸化物濃度	ppm	180	71	39	
	ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	1	0.11	0.15	

要件/主管部門	内容			
6. 排出、流出、廃棄	6. 2 水への放出 滋賀工場では、生産工程や排ガス洗浄などに使用する水を循環させて再利用しており、排水量の削減に努めています。また、環境マネジメントシステム（ISO14001:2015）の目標のひとつに排水への環境負荷物質排出抑制を掲げて活動しています。			
原則				
「事業体」は、人間の健康および安全への悪影響の可能性または環境への悪影響の可能性のある排出および流出を最小化し、また、「廃棄物ミティゲーションヒエラルキー」に従って「廃棄物」を管理しなければならない。		取水源	処理方法	
	生産工程で使用した水	水道用水	工場内で循環させて再使用。蒸発分を水道用水から補給。	
	排ガス洗浄で使用した水（廃アルカリ）	水道用水	貯留タンクに溜めて全量を業者処分委託（産業廃棄物）。タンクからの流出に備えて防液堤を整備、日常点検。	
	生活排水	水道用水	浄化槽による処理。浄化槽は定期保守点検、法定検査を行い適正管理。	
	雨水	降雨	排水経路に油水分離槽を設置。水質を定期測定。	
水道用水使用量と廃水量				
		2022年度	2023年度	備考
滋賀工場 (2023年度)	水道使用量[千m ³]	14,538	15,705	用途：生産工場・排ガス洗浄・事務所
	廃水量[t] 廃アルカリとして業者委託	575	555	排ガス洗浄で使用した水：貯留タンクに溜めて全量を業者処分委託（産業廃棄物）。タンクからの流出に備えて防液堤を整備、日常点検。

要件／主管部門	内容																																
6. 排出、流出、廃棄	6. 2 水への放出																																
原則	油水分離槽の水質分析結果																																
<p>「事業体」は、人間の健康および安全への悪影響の可能性または環境への悪影響の可能性のある排出および流出を最小化し、また、「廃棄物ミティゲーションヒエラルキー」に従って「廃棄物」を管理しなければならない。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="622 245 862 293">排水</th> <th data-bbox="862 245 1019 293">単位</th> <th data-bbox="1019 245 1176 293">合否判定値</th> <th data-bbox="1176 245 1415 293">2022年度測定値</th> <th data-bbox="1415 245 1655 293">2023年度測定値</th> <th data-bbox="1655 245 2049 293">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="622 293 862 341">水素イオン濃度</td> <td data-bbox="862 293 1019 341">pH</td> <td data-bbox="1019 293 1176 341">6.0~8.5</td> <td data-bbox="1176 293 1415 341">7.3</td> <td data-bbox="1415 293 1655 341">7.6</td> <td data-bbox="1655 293 2049 539" rowspan="5"> ・主な管理計画 漏出源管理による排水削減 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 341 862 389">浮遊物質量</td> <td data-bbox="862 341 1019 389">mg/L</td> <td data-bbox="1019 341 1176 389">90</td> <td data-bbox="1176 341 1415 389">2.2</td> <td data-bbox="1415 341 1655 389">6.1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 389 862 437">生物化学酸素要求量</td> <td data-bbox="862 389 1019 437">mg/L</td> <td data-bbox="1019 389 1176 437">40</td> <td data-bbox="1176 389 1415 437">2.6</td> <td data-bbox="1415 389 1655 437">2.4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 437 862 485">化学的酸素要求量</td> <td data-bbox="862 437 1019 485">mg/L</td> <td data-bbox="1019 437 1176 485">40</td> <td data-bbox="1176 437 1415 485">6.6</td> <td data-bbox="1415 437 1655 485">4.4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 485 862 539">ダイオキシン類</td> <td data-bbox="862 485 1019 539">pg-TEQ/L</td> <td data-bbox="1019 485 1176 539">10</td> <td data-bbox="1176 485 1415 539">0.33</td> <td data-bbox="1415 485 1655 539">5.9</td> </tr> </tbody> </table>	排水	単位	合否判定値	2022年度測定値	2023年度測定値	備考	水素イオン濃度	pH	6.0~8.5	7.3	7.6	・主な管理計画 漏出源管理による排水削減	浮遊物質量	mg/L	90	2.2	6.1	生物化学酸素要求量	mg/L	40	2.6	2.4	化学的酸素要求量	mg/L	40	6.6	4.4	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	0.33	5.9
排水	単位	合否判定値	2022年度測定値	2023年度測定値	備考																												
水素イオン濃度	pH	6.0~8.5	7.3	7.6	・主な管理計画 漏出源管理による排水削減																												
浮遊物質量	mg/L	90	2.2	6.1																													
生物化学酸素要求量	mg/L	40	2.6	2.4																													
化学的酸素要求量	mg/L	40	6.6	4.4																													
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	0.33	5.9																													
	<p>6. 3 流出および漏洩のマネジメントおよび報告</p> <p>滋賀工場では、ISO14001の活動において、流出および漏洩によって大気、水、または土壌汚染などの環境影響を及ぼす恐れのある、事業の主なリスクを特定して、流出および漏洩を防止、検知、復旧するためのリスク軽減措置と管理計画を策定しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="622 738 943 786">主なリスク</th> <th data-bbox="943 738 2049 786">リスク軽減措置と管理計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="622 786 943 834">ばい煙・ガスの流出</td> <td data-bbox="943 786 2049 834">公害防止設備の適正管理、緊急事態対応訓練</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 834 943 882">ダスト流出</td> <td data-bbox="943 834 2049 882">集塵機ダストボックス内飛散対策・流出防止対策、ダストの屋内保管、排水弁管理</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 882 943 930">軽油の流出</td> <td data-bbox="943 882 2049 930">緊急事態対応訓練、オイルマット、土嚢の保管</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 930 943 978">苛性ソーダの流出</td> <td data-bbox="943 930 2049 978">設備・防液堤定期点検、防液堤内雨水pHチェック、緊急事態対応訓練、土嚢の保管</td> </tr> <tr> <td data-bbox="622 978 943 1026">油の流出</td> <td data-bbox="943 978 2049 1026">コンテナ下に受け皿設置、油水分離槽の適正管理、緊急事態対応訓練</td> </tr> </tbody> </table>	主なリスク	リスク軽減措置と管理計画	ばい煙・ガスの流出	公害防止設備の適正管理、緊急事態対応訓練	ダスト流出	集塵機ダストボックス内飛散対策・流出防止対策、ダストの屋内保管、排水弁管理	軽油の流出	緊急事態対応訓練、オイルマット、土嚢の保管	苛性ソーダの流出	設備・防液堤定期点検、防液堤内雨水pHチェック、緊急事態対応訓練、土嚢の保管	油の流出	コンテナ下に受け皿設置、油水分離槽の適正管理、緊急事態対応訓練																				
主なリスク	リスク軽減措置と管理計画																																
ばい煙・ガスの流出	公害防止設備の適正管理、緊急事態対応訓練																																
ダスト流出	集塵機ダストボックス内飛散対策・流出防止対策、ダストの屋内保管、排水弁管理																																
軽油の流出	緊急事態対応訓練、オイルマット、土嚢の保管																																
苛性ソーダの流出	設備・防液堤定期点検、防液堤内雨水pHチェック、緊急事態対応訓練、土嚢の保管																																
油の流出	コンテナ下に受け皿設置、油水分離槽の適正管理、緊急事態対応訓練																																

要件／主管部門	内容
---------	----

6. 排出、流出、廃棄

6. 4 流出および漏洩の公開
 滋賀工場では、大気、水質、および有害化学物質の管理者を設けて、毎月ISO委員会を開催して情報共有および必要に応じて対応を検討しております。緊急事態が発生した場合に被害を最小限に抑られる様に、緊急対応手順をまとめ、定期的な教育を行っています。

原則

「事業体」は、人間の健康および安全への悪影響の可能性または環境への悪影響の可能性のある排出および流出を最小化し、また、「廃棄物ミティゲーションヒエラルキー」に従って「廃棄物」を管理しなければならない。

	2022年度	2023年度	備考
滋賀工場 (2023年度)	大気	-	主な管理計画：公害防止設備、化学物質貯留設備 および油水分離槽定期点検 化学物質漏洩検知器点検 最近3カ年の環境事故の発生なし
	水質	-	
	有害化学物質	-	



要件／主管部門	内容				
6. 排出、流出、廃棄	6. 5 廃棄物管理および報告 滋賀工場で発生する廃棄物は全量、行政の許可証を持つ業者に処分委託しています。年1回の処分場視察を通じて適正に処分されているかを確認しています。				
原則					
「事業体」は、人間の健康および安全への悪影響の可能性または環境への悪影響の可能性のある排出および流出を最小化し、また、「廃棄物ミティゲーションヒエラルキー」に従って「廃棄物」を管理しなければならない。	滋賀工場 (2023年度)		2023年度	備考	
			産業廃棄物 [t]	発生量	916
リサイクル量	630				
処分量	286				
特別管理 産業廃棄物 [t]	発生量	71			
	リサイクル量	62			
	処分量	9			
6. 8 ドロス 当社滋賀工場においてアルミニウムスクラップを溶解した際に発生したドロスにはアルミ分が多く含まれているため、可能な限りアルミを回収します。その後専用プラントにて保管の上、ふるい分けし、粒の大きなドロスはアルミ回収に使用します。残りのアルミ分が回収できないほど細かなドロスは鉄鋼用ドロスとして販売しており、鉄鋼精錬のエネルギー削減のための昇温材や不純物を除去する脱酸剤等の用途にリサイクルされております。			2022年度	2023年度	備考
ドロスの廃棄処分量[t]			0	0	主な管理計画・適切なアルミ分管理による販売（＝廃棄の抑制）

要件／主管部門	内容																																																				
7. 水の管理	7. 1 水の評価および開示 当社滋賀工場の製品生産に必要な水の安定供給のため、近くの水源から水の導入経路を定期的にチェックしています。 ・ 水資源評価																																																				
原則																																																					
「事業体」は、共有水資源管理を支援するために、責任ある水の取り入れ、利用、および管理を行わなければならない。	<table border="1" data-bbox="622 244 2051 496"> <thead> <tr> <th>事業所</th> <th>取水源</th> <th>単位</th> <th>2022年</th> <th>2023年</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">滋賀工場</td> <td>水道用水</td> <td>トン</td> <td>14,538</td> <td>15,705</td> <td rowspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 供給先：馬淵浄水場（水源地：琵琶湖） 流入河川の影響を受けにくい所から取水 直近2年間の水供給制限未発生 </td> </tr> <tr> <td>工業用水</td> <td>トン</td> <td>－</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>地下水</td> <td>トン</td> <td>－</td> <td>－</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="577 531 2107 587">当社滋賀工場では、生産工程や排ガス洗浄などに使用する水を循環させて再利用しており、蒸発による消費分を補充するのみで外部放出は行いません。適正管理した浄化槽で処理した生活排水と、油水分離槽で処理した雨水のみ放出しております。</p> <p data-bbox="577 608 1368 632">・ 水資源（水質）管理：雨水の排水経路に設置した油水分離槽の検査結果</p> <table border="1" data-bbox="622 659 2051 959"> <thead> <tr> <th>排水</th> <th>単位</th> <th>合否判定値</th> <th>2022年度測定値</th> <th>2023年度測定値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン濃度</td> <td>pH</td> <td>6.0～8.5</td> <td>7.3</td> <td>7.6</td> <td rowspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> 主な管理計画 漏出源管理による排水削減 </td> </tr> <tr> <td>浮遊物質</td> <td>mg/L</td> <td>90</td> <td>2.2</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>生物化学酸素要求量</td> <td>mg/L</td> <td>40</td> <td>2.6</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>化学的酸素要求量</td> <td>mg/L</td> <td>40</td> <td>6.6</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>ダイオキシン類</td> <td>pg-TEQ/L</td> <td>10</td> <td>0.33</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table>	事業所	取水源	単位	2022年	2023年	備考	滋賀工場	水道用水	トン	14,538	15,705	<ul style="list-style-type: none"> 供給先：馬淵浄水場（水源地：琵琶湖） 流入河川の影響を受けにくい所から取水 直近2年間の水供給制限未発生 	工業用水	トン	－	－	地下水	トン	－	－	排水	単位	合否判定値	2022年度測定値	2023年度測定値	備考	水素イオン濃度	pH	6.0～8.5	7.3	7.6	<ul style="list-style-type: none"> 主な管理計画 漏出源管理による排水削減 	浮遊物質	mg/L	90	2.2	6.1	生物化学酸素要求量	mg/L	40	2.6	2.4	化学的酸素要求量	mg/L	40	6.6	4.4	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	0.33	5.9
事業所	取水源	単位	2022年	2023年	備考																																																
滋賀工場	水道用水	トン	14,538	15,705	<ul style="list-style-type: none"> 供給先：馬淵浄水場（水源地：琵琶湖） 流入河川の影響を受けにくい所から取水 直近2年間の水供給制限未発生 																																																
	工業用水	トン	－	－																																																	
	地下水	トン	－	－																																																	
排水	単位	合否判定値	2022年度測定値	2023年度測定値	備考																																																
水素イオン濃度	pH	6.0～8.5	7.3	7.6	<ul style="list-style-type: none"> 主な管理計画 漏出源管理による排水削減 																																																
浮遊物質	mg/L	90	2.2	6.1																																																	
生物化学酸素要求量	mg/L	40	2.6	2.4																																																	
化学的酸素要求量	mg/L	40	6.6	4.4																																																	
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	0.33	5.9																																																	

要件／主管部門	内容
8. 生物多様性および生態系サービス	<p>8. 1 生物多様性およびエコシステムサービスのリスクおよび影響評価</p> <p>当社滋賀工場の影響範囲に保護地域等はありません。また生産工程で発生する廃水を全量廃棄物として委託処理していて、生活排水は浄化槽、雨水は油水分離槽で適正処理して下流域への汚染の可能性が無い様に管理しております。</p>
原則	
<p>「事業体」は、エコシステム、生息地、および種を保護するために、「生物多様性ミティゲーションヒエラルキー」に従って、生物多様性、および「エコシステムサービス」の影響を管理しなければならない。</p>	 <p>環境省：環境アセスメントデータベース (EADAS) より</p>
	<p>8. 5 世界遺産に影響を与えないための取組み</p> <p>当社滋賀工場は滋賀県東近江市にあり、最も近い世界自然遺産の白神山地からは直線距離で約680km離れています。また最も近い世界文化遺産の延暦寺（古都京都の文化財）からは直線距離で約30km離れています。</p> <p>将来的に滋賀工場の土地あるいは周辺が世界遺産に登録された場合は、新たなプロジェクトの調査、開発、または重大な変更を行いません。更に既存または将来の事業が、世界遺産の価値と対立せず、世界遺産の完全性を妨げるリスクがない事を確保するためのあらゆる可能な措置を講じます。</p>
	<p>8. 6 保護地域</p> <p>当社滋賀工場の影響範囲に保護地域等はありません。</p>

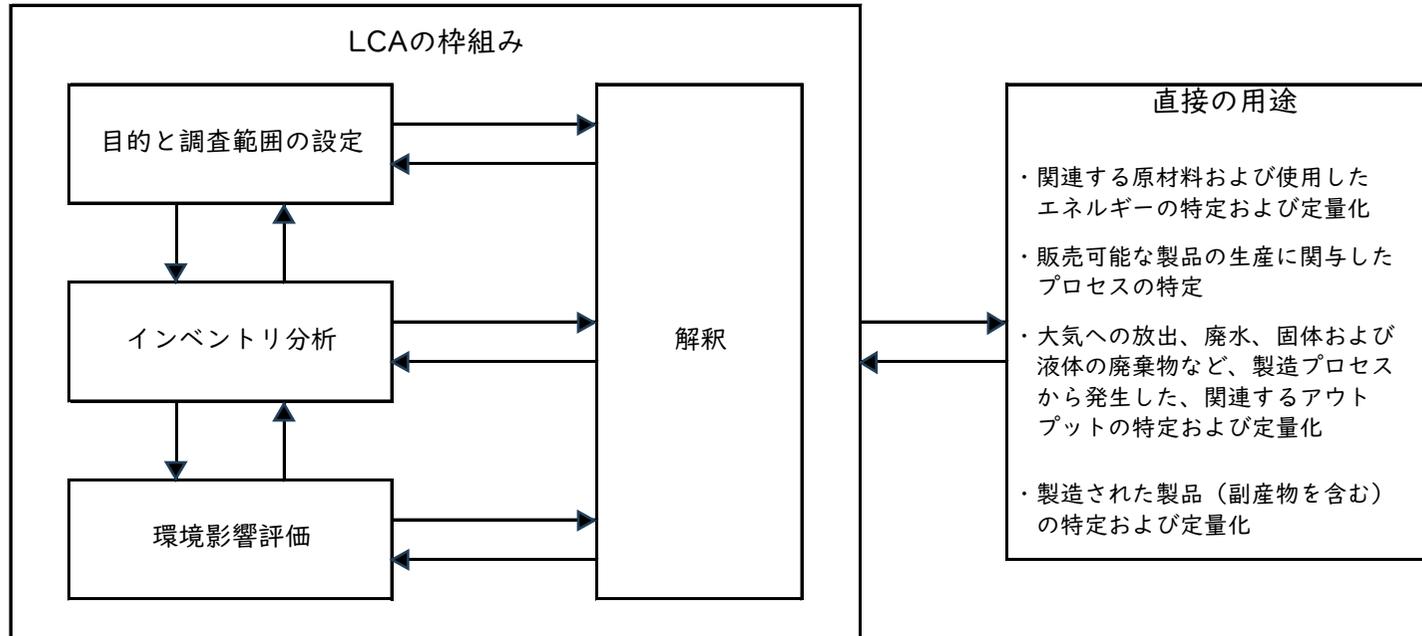
要件／主管部門	内容							
<p>9. 人権</p>	<p>9. 1 人権デューデリジェンス</p> <p>当社は、「国際人権章典」や「労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関宣言」および「ビジネスと人権に関する指導原則」を支持・尊重しており、大紀アルミグループ全体での人権尊重の取り組み推進に向けた「人権方針」を2023年7月に策定、2024年4月に改訂しました。</p>							
<p>原則</p>	<p>ウェブサイト</p>							
<p>「事業体」は、その事業によって影響を受ける個人および集団の「人権」を尊重し、支援しなければならない。 「事業体」は、「人権」に対する悪影響を及ぼす可能性について、「人権」に関する国際文書と整合性のある方法で、評価、防止、および是正するために適切な行動をとらなければならない。</p>	<p>人権方針</p>	<p>https://www.dik-net.com/wp-content/themes/thema2021/pdf/human_rights.pdf</p>						
	<p>「人権方針」内のASIに関連する具体的な宣言は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大紀アルミグループは、人権を尊重し、国籍、人種、民族、出身地、性別、性的指向、性自認、年齢、宗教、信条、思想、社会的身分、疾病、障害の有無等、いかなる理由であれ差別および嫌がらせを行いません。 ・大紀アルミグループは、ジェンダー公正および女性のエンパワーメントに取り組みます。 ・大紀アルミグループは、先住民族の権利および利益を尊重します。 ・大紀アルミグループは、結社の自由および団体交渉権を保障します。 ・大紀アルミグループは、児童労働および強制労働を行いません。 ・大紀アルミグループは、いかなる理由であれ暴力およびハラスメントを行いません。 <p>当社は、人権デューデリジェンスのプロセスとして社内規程を整備しました。人権デューデリジェンスは規定の頻度以外に、新たな事業活動、事業における重大な決定や変更、事業環境の変化および管理のギャップについて何らかの兆候があるとき等に実施します。</p> <p>9. 2 ジェンダー公正および女性のエンパワーメント</p> <p>大紀アルミグループは、「人権方針」に則り国籍、人種、民族、出身地、性別、性的指向、性自認、年齢、宗教、信条、思想、社会的身分などによる差別のない公正な採用を進めます。また組織内の女性の管理者育成のための目標を2024年5月に策定した中期経営計画で定め、活動しています。</p>							
	<p>中期経営計画</p>	<p>ウェブサイト</p> <p>https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03525/fa89699f/c9e2/4af2/be3f/678d0dac6e6a/140120240510589432.pdf</p>						
		<p>FY2024</p> <p>3</p>	<p>FY2025</p> <p>3</p>	<p>FY2026</p> <p>3</p>	<p>FY2027</p> <p>3</p>	<p>FY2028</p> <p>4</p>	<p>FY2029</p> <p>5</p>	<p>FY2030</p> <p>6</p>
<p>※大紀アルミニウム工業所単体の計画</p>								

要件／主管部門	内容
9. 人権	9. 7 影響を受ける人や組織 当社は、社内規程に基づいて影響を受ける人や組織に関する人権デュー・ディリジェンスを実施しました。その結果、強制労働・児童労働など人権侵害を引き起こした、あるいはこれを助長したという事実は発見されませんでした。
原則	9. 8 紛争地域および高リスク地域 サプライチェーンの「デューディリジェンス」に関する年次報告 滋賀工場における、アルミニウムのサプライチェーンについて、OECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス（OECDガイダンス）に従った、リスクベースの「デューディリジェンス」を実施しました。
「事業体」は、その事業によって影響を受ける個人および集団の「人権」を尊重し、支援しなければならない。 「事業体」は、「人権」に対する悪影響を及ぼす可能性について、「人権」に関する国際文書と整合性のある方法で、評価、防止、および是正するために適切な行動をとらなければならない。	

要件／主管部門	内容																																				
11. 労働安全衛生	11. 1 労働安全衛生マネジメントシステム 労働安全衛生関連法令の順守はもちろん、安全衛生の更なる活動推進を図るために中央労働災害防止協会のJISHA方式適格OSHMS認証を2012年に取得し活動しています。また、全従業員に安全教育と訓練を実施しております。																																				
原則	「事業体」は、全ての「労働者」に安全かつ衛生的な労働環境を提供しなければならない。																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>安全衛生対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023年</td> <td>強度率</td> <td>0</td> <td>0.16</td> <td>0%</td> <td>・安全カバー開放時自動停止装置追加</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 2023年 事業所規模別強度率 50~99人規模は公開前</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>安全衛生対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>強度率</td> <td>0</td> <td>0.000</td> <td>100%</td> <td>・点検口と歩廊追加設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 2022年 事業所規模別強度率 50~99人規模の0.16（厚生労働省 労働災害動向調査）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th></th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>安全衛生対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021年</td> <td>強度率</td> <td>0</td> <td>0.000</td> <td>100%</td> <td>・保護具（マスク・足カバー）着用ルール徹底</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 2021年 事業所規模別強度率 50~99人規模の0.13（厚生労働省 労働災害動向調査）</p>	年		目標	実績	達成率	安全衛生対策	2023年	強度率	0	0.16	0%	・安全カバー開放時自動停止装置追加	年		目標	実績	達成率	安全衛生対策	2022年	強度率	0	0.000	100%	・点検口と歩廊追加設置	年		目標	実績	達成率	安全衛生対策	2021年	強度率	0	0.000	100%	・保護具（マスク・足カバー）着用ルール徹底
年		目標	実績	達成率	安全衛生対策																																
2023年	強度率	0	0.16	0%	・安全カバー開放時自動停止装置追加																																
年		目標	実績	達成率	安全衛生対策																																
2022年	強度率	0	0.000	100%	・点検口と歩廊追加設置																																
年		目標	実績	達成率	安全衛生対策																																
2021年	強度率	0	0.000	100%	・保護具（マスク・足カバー）着用ルール徹底																																

滋賀工場における環境ライフサイクルアセスメント (LCA)

1. LCAの枠組み



2. 目的および調査範囲の設定

(目的)

- ・ 関連する原材料および使用したエネルギーの特定および定量化
- ・ 販売可能な製品の生産に関与したプロセスの特定
- ・ 大気への放出、廃水、固体および液体の廃棄物など、製造プロセスから発生した、関連するアウトプットの特定および定量化
- ・ 製造された製品（副産物を含む）の特定および定量化

(調査範囲)

- ・ 滋賀工場におけるアルミ二次合金精錬精製事業

(主な前提条件)

・ INPUT情報

- ・ エネルギー使用量 GHG排出量Scope 1, 2 算定に用いた値
- ・ 水使用量 水道使用料請求書に記載の値
- ・ 原料使用量 GHG排出量Scope 3 カテゴリ 1 算定に用いた値
- ・ 消耗品使用量 GHG排出量Scope 3 カテゴリ 1 算定に用いた値

・ OUTPUT情報

- ・ 製品 GHG排出量算定で原単位の分母に用いた値
- ・ 副産物 (ドロス) ドロス (商品名: A灰, B灰, C灰) の販売量
発生したドロスからアルミを回収しており、残差のみを販売しているため
- ・ 廃棄物 GHG排出量Scope 3 カテゴリ 5 算定に用いた値
- ・ 環境負荷物質 (CO₂) GHG排出量算定結果の値
- ・ // (その他大気) INPUT情報の使用に伴い発生する影響値をIDEA v3.1を用いて集計
- ・ // (水質) INPUT情報の使用に伴い発生する影響値をIDEA v3.1を用いて集計
- ・ // (土壌) INPUT情報の使用に伴い発生する影響値をIDEA v3.1を用いて集計

3. システム境界

(LCAのシステム境界)

- ・ 滋賀工場のアルミニウム二次合金精錬精製事業における「Cradle-to-Gate」をシステム境界とする。
具体的には、原材料採取 → 原材料の輸送 → 製造工程 → 製品の配送 の範囲を指す。

4. LCA

原材料投入量	43,318 t
製品産出量	43,113 t
水道水	15,705 m ³
電力 (公共電力)	5,029 MWh
電力 (自家発)	254 MWh
燃料	370,107 GJ
廃棄物 (埋立/焼却)	627,046 kg
廃棄物 (リサイクル)	62,210 kg
気候変動	70,607 t-CO _{2eq}
オゾン層破壊	75 kg-CFC-11 _{eq}
酸性化	53 t-SO _{2eq}
光化学オキシダント	919 kg-C ₂ H _{4eq}